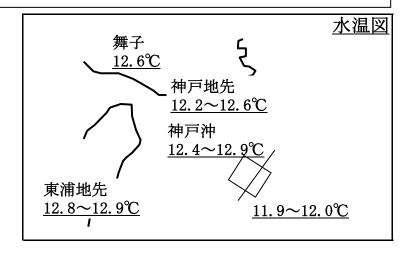
兵庫のり研究所

神戸地先の東部や神戸沖の一部海域において小型珪藻スケレトネマが多く見られましたが、それ以外の海域で は数種の珪藻がわずかに確認される程度と少ない状況です。窒素はスケレトネマが多かった地点の表層でやや低 い値を示しましたが、神戸地先及び神戸沖で全般に $4 \mu g$ -at/L台、淡路東浦で $3 \mu g$ -at/L台の値となっています。

(水温) 神戸地先は12.2~12.6℃で平均12.5℃。神戸沖は平均12.3℃、東浦地先は平均12.8℃。全域で平年より約2.2~2.6℃高い。

(塩分) 神戸地先: 31.92~32.37psu。神戸沖: 31.78~32.43psu。東浦地先: 32.42~32.48psu。
(栄養塩、珪藻) 神戸地先の駒ヶ林、神戸沖の東~南角、湾中央部にあたる〇5地点においてスケレトネマが海水1mlあたり1500~3000細胞と多く発生しており、海水が褐色がかった弱い赤潮として確認された。それ以外においては、コシノディスカスやキートセロス等数種の珪藻がわずかに確認される程度と少ない状況。スケレトネマの多い地点の表層で栄養塩(窒素・リン共に)がやや低かったが、変素は独戸地生品が地戸池で掘れる。ではイエム・淡路東海で2.0.5では人口が、四天海峡郊周辺海域で4~55.0.5ではイエムであった。 が、窒素は神戸地先及び神戸沖で概ね 4μ g-at/L台、淡路東浦で 3μ g-at/L台、明石海峡部周辺海域で $4\sim5\mu$ g-at/L台であった。

		前回值	今回値	平年値	昨年値
神戸地先	水温	15.8	12. 5	9.9	11.7
	窒素	5.8	6. 5	8.0	5. 3
	リン	0.63	0.64	0.39	0.35
神戸沖	水温	15.8	12. 3	10.1	11.9
	窒素	5.4	2.8	4.3	4. 2
	リン	0.61	0.33	0.34	0.42
東浦地先	水温	15.9	12.8	10.4	12.0
	窒素	5. 3	3.8	4.3	4.8
	リン	0.63	0.50	0.41	0.47
		(12/20)			(1/21)



栄養塩(窒素)図

2020年 1月22日調査

